

平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月28日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	1,083	7.4	173	262.1	163	359.1	132	669.2
27年12月期第1四半期	1,008	24.1	47	—	35	—	17	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 136百万円(655.5%) 27年12月期第1四半期 18百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年12月期第1四半期	19	56	18	90
27年12月期第1四半期	2	58	2	55

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	3,689	69.5	2,606	69.5		
27年12月期	3,602	66.4	2,439	66.4		

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 2,564百万円 27年12月期 2,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	1,765	△18.2	△23	—	△31	—	△47	—	△7.00
通期	3,730	△10.3	320	261.6	305	390.1	267	667.4	39.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年12月期1Q	6,770,820株	27年12月期	6,709,945株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	2,875株	27年12月期	2,635株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年12月期1Q	6,756,326株	27年12月期1Q	6,645,239株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀による追加的な金融政策が実施されるものの、個人消費等の一部に停滞感が見られ、円安基調から一転しての円高傾向に加え、海外経済では新興国の景気減速、原油価格の急落といった不安要素もあることから、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作からの利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当連結会計年度におきましては、クリエイターサポート事業及びUI/UX事業を中心に注力し、販売・営業活動の推進や提供サービスの拡充を図りながら、引き続き経営体質強化に努めてまいりました。

その結果、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は1,083,284千円（前年同期比7.4%増）、営業利益は173,228千円（前年同期比262.1%増）となりました。

また、経常損益につきましては、支払利息1,628千円、為替差損6,379千円を計上したこと等により、163,544千円の経常利益（前年同期比359.1%増）となりました。純損益につきましては、税金費用及び非支配株主に帰属する四半期純損益を控除したことにより、132,196千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比669.2%増）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

#### <クリエイターサポート事業>

当第1四半期連結累計期間では、アニメ制作機能を搭載したマンガ・イラスト・アニメ制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」の英語版、中国語版（繁体字）の最新バージョンを公開、また、これまで「CLIP STUDIO PAINT」の英語版のパッケージ各製品は、北米、ヨーロッパを中心に販売代理店「Smith Micro software, Inc.」により「Manga Studio 5」として販売を行ってまいりましたが、製品名を「CLIP STUDIO PAINT」に統一し、フランス語版、スペイン語版のパッケージ版も「CLIP STUDIO PAINT」として発売を予定しており、同代理店と共同でヨーロッパ、中南米等のフランス語圏、スペイン語圏においても拡販を進めてまいります。

なお、インターネットを通じて、イラスト、マンガ、アニメ、小説を制作するクリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成28年3月末時点の登録者数は62万人となっております。

以上の結果、売上高は282,075千円（前年同期比32.7%増）、営業利益は56,106千円（前年同期比74.6%増）となりました。

#### <コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業の中心である携帯電話市場におきましては、平成27年12月末で国内携帯電話加入契約数が1億5,289万台（前年比5.4%増）となっております。（社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より）また、平成27年（平成27年1月～平成27年12月）の国内携帯電話端末総出荷台数3,577万台に占めるスマートフォンの割合は77.1%（前年同期比4.7%増）となっております。（株式会社MM総研発表より）

このような経営環境の中、総合電子書籍ビューア「BS Reader」で配信可能な高画質コマ作品の取次が株式会社出版デジタル機構、株式会社メディアドゥ、株式会社モバイルブック・ジャーピー等の大手取次会社で開始、また、Webブラウザ上で作動する電子書籍ビューア「BS Reader for Browser」が、iPhoneSE、9.7インチiPadProに対応いたしました。

以上の結果、売上高は265,914千円（前年同期比2.5%減）、営業利益は23,575千円（前年同期比71.4%増）となりました。

#### <UI/UX事業>

UI/UX事業では、自動車（四輪・二輪）関連分野を筆頭に自社IP製品の開発と販売に注力してまいりました。当第1四半期連結累計期間では、HMIの基盤であるUIオーサリングツール「exbeans UI Conductor」のバージョンアップを行い、今後のUI開発に不可欠な3D機能の強化や、複数画面を統合して取り扱えるマルチプレビュー機能を追加、また、新たに開発したWebアプリケーションプラットフォーム「exbeans Affinity」の提供を開始いたしました。テレマティクスサービスソフトウェア（車載情報システム）では、パイオニア株式会社から発売されたミラー型テレマティクス端末「ビークルアシスト」のアプリケーション開発に協力いたしました。

この他、東京ビッグサイトで開催の、世界中の自動車メーカーと自動車部品メーカーとの技術相談・商談のための展示会「オートモーティブ ワールド」に出展し、自動車業界における「Tier-1」（一次サプライヤー）メーカーとして、自社IP製品を核とするビジネス創出を推進いたしました。

なお、組込み向けスケーラブルフォント描画エンジン「Higlyph」は、平成21年12月リリース以降デジタルカメラ、

プリンタ、情報家電、車載機器等の様々な製品に採用され、平成28年1月には累計出荷台数4,000万台を超えております。

以上の結果、売上高は540,382千円（前年同期比3.3%増）、営業利益は83,709千円（前年同期は66千円の営業損失）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて86,306千円増加し3,689,228千円となりました。この主な要因は、仕掛金が9,236千円、ソフトウェア仮勘定が86,091千円減少した一方で、現金及び預金が96,149千円、売掛金が77,977千円、ソフトウェアが26,666千円増加したこと等によるものであります。

### （負債の部）

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて80,713千円減少し1,082,402千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が23,459千円増加した一方で買掛金が23,920千円、短期借入金が18,311千円、長期借入金21,368千円減少したこと等によるものであります。

### （純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて167,019千円増加し2,606,825千円となりました。この主な要因は、資本金が26,314千円、資本剰余金が26,314千円、利益剰余金が118,985千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、69.5%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の連結業績予想につきましては、平成28年2月12日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当社グループの事業の特性として、四半期毎の業績に変動があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,323,640	1,419,790
売掛金	490,332	568,310
製品	3,809	2,472
仕掛品	80,054	70,817
原材料及び貯蔵品	24,714	25,873
その他	169,218	150,071
貸倒引当金	△6,224	△4,408
流動資産合計	2,085,545	2,232,927
固定資産		
有形固定資産		
建物	65,181	66,474
減価償却累計額	△38,966	△40,030
建物(純額)	26,214	26,444
工具、器具及び備品	209,170	213,742
減価償却累計額	△182,527	△186,125
工具、器具及び備品(純額)	26,642	27,616
有形固定資産合計	52,857	54,061
無形固定資産		
ソフトウェア	899,468	926,134
ソフトウェア仮勘定	277,192	191,100
その他	32,414	32,304
無形固定資産合計	1,209,075	1,149,540
投資その他の資産		
投資有価証券	103,449	103,524
敷金及び保証金	112,536	112,219
その他	36,413	34,519
投資その他の資産合計	252,399	250,264
固定資産合計	1,514,332	1,453,865
繰延資産	3,043	2,435
資産合計	3,602,921	3,689,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	149,730	125,809
短期借入金	349,994	331,683
1年内返済予定の長期借入金	123,147	109,544
未払法人税等	6,591	30,050
返品調整引当金	2,305	2,119
賞与引当金	77,651	73,852
その他	266,462	240,148
流動負債合計	975,882	913,207
固定負債		
長期借入金	87,011	65,643
退職給付に係る負債	91,273	94,583
繰延税金負債	917	936
その他	8,031	8,031
固定負債合計	187,233	169,194
負債合計	1,163,115	1,082,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,024,122	1,050,436
資本剰余金	503,249	529,563
利益剰余金	867,258	986,243
自己株式	△1,786	△2,331
株主資本合計	2,392,843	2,563,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861	918
その他の包括利益累計額合計	861	918
新株予約権	34,636	27,101
非支配株主持分	11,463	14,893
純資産合計	2,439,806	2,606,825
負債純資産合計	3,602,921	3,689,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,008,661	1,083,284
売上原価	635,983	663,524
売上総利益	372,677	419,760
返品調整引当金戻入額	3,149	2,305
返品調整引当金繰入額	1,724	2,119
差引売上総利益	374,102	419,945
販売費及び一般管理費	326,268	246,717
営業利益	47,833	173,228
営業外収益		
受取利息	145	140
その他	1,093	97
営業外収益合計	1,239	238
営業外費用		
支払利息	3,624	1,628
為替差損	894	6,379
持分法による投資損失	7,195	—
その他	1,735	1,914
営業外費用合計	13,448	9,922
経常利益	35,624	163,544
特別利益		
新株予約権戻入益	—	101
特別利益合計	—	101
特別損失		
投資有価証券売却損	10,546	—
特別損失合計	10,546	—
税金等調整前四半期純利益	25,077	163,646
法人税等	7,194	27,648
四半期純利益	17,883	135,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	696	3,801
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,186	132,196

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,883	135,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125	56
その他の包括利益合計	125	56
四半期包括利益	18,008	136,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,312	132,252
非支配株主に係る四半期包括利益	696	3,801

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート 事業	コンテンツソ リューション 事業	UI/UX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	212,564	272,724	523,372	1,008,661	—	1,008,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	28	—	28	△28	—
計	212,564	272,753	523,372	1,008,689	△28	1,008,661
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	32,140	13,753	△66	45,827	2,006	47,833

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート 事業	コンテンツソ リューション 事業	UI/UX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	282,075	260,826	540,382	1,083,284	—	1,083,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,088	—	5,088	△5,088	—
計	282,075	265,914	540,382	1,088,372	△5,088	1,083,284
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	56,106	23,575	83,709	163,391	9,837	173,228

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、社内業績管理区分の見直しを行った結果、アプリケーション事業とUI/UX事業を集約し、UI/UX事業として表示する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。